

技術資料表紙（例）

（用紙A 4）

平成〇年〇月〇日

分任支出負担行為担当官
関東地方地方整備局
甲府河川国道事務所長
矢崎 剛吉 殿

住 所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇県〇〇市〇〇番
代表者 〇〇〇建設株式会社
代表取締役社長
〇〇 〇〇

印

※（持参の場合は押印する）

「災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定」の技術資料を提出します。

なお、問い合わせ先は下記のとおりです。

記

1. 問い合わせ先

担 当 者 : 〇〇 〇〇
部 所 : 〇〇〇本店〇〇部〇〇課
電 話 番 号 : (代) 〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 [(内) 〇〇〇〇]

2 本店・支店の所在地

名 称 : (本社又は本店の別も記載する)
住 所 :
電 話 番 号 :

注： 本店とは、一般競争（指名競争）参加資格審査申請書に記載した本店。

協定締結希望区間

(災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定締結)

会社名：〇〇建設株式会社

		希望する区間の最も近い箇所までの距離
希望区間	1 〇〇出張所管内区間	(k m)
希望区間	2 〇〇出張所管内区間	(k m)
希望区間	3 〇〇出張所管内区間	(k m)

同種工事の施工実績
 (災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定締結)

会社名：〇〇〇建設(株)

同種又は類似 工事の条件	平成9年4月1日以降に完成し引渡しが完了した下記の要件を満たす同種工事の施工実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。) (ア) 同種工事 国土交通省、他省庁発注工事、公団等発注工事又は地方公共団体の発注工事、河川工事の施工実績。なお、当該実績が平成9年4月1日以降に完成した大臣官房官庁営繕部所掌の工事(旧地方建設局所掌の工事を含み、港湾航空関係を除く。)に係わるものにあつては、評定点合計(工事成績評定通知書の記. 4. 成績評定①の評定点(評定点が修正された場合にあつては、修正評定点)をいう。)が65点未満のものを除く。また、異工種建設工事共同企業体としての実績は、協定書による分担工事の実績のみ同種工事の実績のみ認める。	
工 事 名 称 等	工事名称	〇〇〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)
	発注機関名	国土交通省〇〇地方整備局〇〇工事事務所
	施工場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 ～ 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円
	工期	平成〇年〇月〇日 ～ 平成〇年〇月〇日
	受注形態等	単体 / 〇〇・〇〇JV (出資比率〇〇%)
	※表彰 [表彰名・工事名] (表彰者・年月日)	[優秀〇〇〇〇〇表彰・〇〇〇〇〇〇〇〇工事] (〇〇工事事務所長・平成〇年〇月〇日)
工 事 概 要	形式 規模・寸法等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇護岸 (石張・ブロック張等) ・ 〇〇護岸 (蛇籠・カゴマット工等)
	基礎構造形式 規模・寸法等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矢板基礎、非矢板基礎 (根固ブロック有・無)
	使用機材・数量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法覆工 (石材) 〇〇〇m³ ・ コンクリート 〇〇〇m³
	施工条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇〇と近接施工 (隔離〇m) ・ 濁水期施工

※記載欄の明示は記入例である。

※表彰の欄については、申請する工事が国・公団・都県で優良工事表彰(工事の出来映え・品質に関する表彰に限る。)を受けている場合に記入する。

【注：記入例等は、同種又は類似工事の条件等を勘案し可能な限り適切に示すこと。】

「優良工事表彰」の有無

(災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定締結)

会社名：〇〇〇〇建設㈱

優良工事表彰の有無 (どちらか一方を記入する。)		優良工事表彰あり 優良工事表彰なし
工 事 名 称 等	工 事 名 称	〇〇〇工事 (CORINS登録番号)
	工 事 成 績 評 定	〇〇 点
	優 良 工 事 表 彰	〇〇〇事務所長 (平成〇年〇月〇日)
	発 注 機 関 名	国土交通省関東地方整備局〇〇事務所
	施 工 場 所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 ~ 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
	契 約 金 額	〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
	工 期	平成〇年〇〇月〇〇日 ~ 平成〇年〇〇月〇〇日
受 注 形 態 等	単体/〇〇・〇〇JV (出資比率〇〇%)	

注) 記載する工事のCORINS (登録されていない場合は契約書 (工事名、契約金額、工期、発注者、受注者の確認ができる部分)) の写しを提出すること。

注) 当該工事に係る工事成績評定通知書の写しを添付すること。

注) 優良工事表彰された工事であることを証明する表彰状等の写しを必ず添付すること。

災害応急復旧工事等の施工実績

(災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定)

会社名：〇〇〇建設㈱

記入条件	平成14年4月1日以降（過去10年間）に、元請けとして完成・引き渡しが完了した関東地方整備局管内における災害応急復旧工事（災害復旧工事は含まない。いわゆる緊急災をいう。災害協定により出動し工事契約を締結したものは含む。）	
工事 名 称 等	工事名称	〇〇〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)
	発注機関名	国土交通省〇〇地方整備局〇〇工事事務所
	施工場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 ～ 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円
	工期	平成〇年〇月〇日 ～ 平成〇年〇月〇日
	受注形態等	単体 / 〇〇・〇〇JV (出資比率〇〇%)
工事 概 要	分野	例) 河川災害
	工種（種別）	例) ・土工 〇〇m3 ・根固投入 〇〇〇個

様式－5－2

(災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定)

資格証・社員証の写し添付様式

会社名：〇〇〇建設株

他事務所及び他機関との「災害時等の応急復旧」
協定又は覚書等の締結の有無

(災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定)

会社名：〇〇〇建設株

協定等： 複数有り ・ 1件有り ・ 無し

※該当箇所に○を付けて下さい。

「複数有り」又は「1件有り」の場合は、全てを下表に記入する。

1	協定（覚書等）名	
	機関名（相手）	
	有効期限	
2	協定（覚書等）名	
	機関名（相手）	
	有効期限	
3	協定（覚書等）名	
	機関名（相手）	
	有効期限	
4	協定（覚書等）名	
	機関名（相手）	
	有効期限	

地域特性及び建設機械保有状況

(災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定)

注) 複数区間を希望する場合で、希望する区間により活動拠点・資機材の状況が異なる場合は、希望する区間毎に作成・提出すること。同一の場合は、1枚で良い。

会社名：〇〇〇建設(株) _____

希望区間 〇〇出張所管内区間

本店の名称と住所	
本店	名称： 住所：
災害時の 活動拠点	名称： 住所：

建設機械等の状況

機械類	自社持ち
ブルドーザ又はトラクターショベル	(機種別、重量又はバケット容量別、台数) ブルドーザ ○ t ○台 トラクターショベル○m3 ○台
バックホウ	(バケット容量別、台数) ○m3 ○台
クレーン (トラック又はクローラー)	(公称吊り上げ重量別、台数) ○ t ○台
その他	

※記載欄の表示は記入例です。

1枚で書ききれない場合は、用紙を追加して下さい。